

COVID-19 拡大防止対策・大会実施ガイドライン

2022年4月20日

主催者：(一社) 徳島県サッカー協会

管理者：(一社) 徳島県サッカー協会 フットサル委員会

1. 事前準備

感染対策責任者の設置

- ① 大会の感染対策責任者の決定
- ② 参加チームの感染対策責任者の確認

2. 参加チームへの事前通達

- ① 参加チームへの伝達：大会感染対策責任者 ⇒ 参加チーム感染対策責任者

(ア) 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせ

- 1) 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 2) 同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる
- 3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(イ) 当日参加の選手・スタッフ全員のマスク着用の徹底

(ウ) 全員分の健康チェックシートに記入・提出（当日受付）

(エ) その他、大会参加にあたる注意事項の遵守

- 各参加チーム地域・自治体から/会場への移動制限解除の確認（問題なく、会場への移動が可能か）
- 各参加チームの全選手・スタッフの「新しい生活様式」に準じた日々の感染症対策、健康管理の確認
- 各参加チームの全選手・スタッフに濃厚接触者（2週間の健康状態観察中）がいないことの確認
- 各参加チームの選手保護者・関係者全員の競技会開催の了承、参加チーム・会場・試合数・キックオフ時間の周知の確認
- ユニフォームカラー当日競技会規定により決定
- 代表者・監督会議は大会当日、参加者全員マスク着用の上ソーシャルディスタンスを確保
- 各参加チームの全選手及びの保護者・スタッフに新型コロナウイルス接触確認アプリ（通称：COCOA）のインストールを推奨

(オ) 運営関係者（役員・運営スタッフ・ボランティア等）

- 日常の感染対策の実施、運営準備段階からのマスクの着用、手洗いの励行
- 前日及び当日の体調不良者の来場禁止の周知
- 健康チェックシートの提出・会場入口での検温・健康チェック ⇒ 発熱・体調不良者は入場させず、ただちに帰宅

健康チェックシートの提出・会場入口での検温・健康チェック ⇒ 発熱・体調不良者は入場させず、ただちに帰宅

新型コロナウイルス接触確認アプリ（通称：COCOA）のインストールを推奨

(カ) メディア

事前申請制 記者数の制限 および その旨のメディアへの事前連絡

記者対応エリア:十分な広さの確認 ⇒ 今回は特に設置せず、ソーシャルディスタンスを守り、決められた場所で取材活動

選手/メディアの動線分け 取材時のソーシャルディスタンス（2m以上）の確保

(キ) 試合会場の確認・設営上の注意事項

試合会場の状況確認:大会感染対策責任者 ⇒ 試合会場

1 十分な感染対策の実施の有無

2 他団体の使用時期。直前の使用がある場合、当該利用者の感染対策の実施の有無

ロッカールーム:十分な広さ、換気可能の確認 ⇒ 確認済

ベンチ:ソーシャルディスタンスの確保（必要に応じてテント増設）

消毒の徹底:ロッカールーム、ベンチ、控室、トイレ等

各種表示:トイレ個室「洋式の場合、流す時はふたを閉める」洗面所「手洗いは 30 秒以上」各所「手指消毒・マスク着用」

(ク) 感染対策用備品（例）

運営スタッフ用マスク

アルコール拭き取りシート

液体石鹸

アルコール手指消毒液

靴底消毒マット

ペーパータオル

次亜塩素酸水道具消毒液

使い捨てビニール手袋

ゴミ袋

3. 試合当日

(ア) ゲートコントロール・会場内注意事項（感染対策担当が中心になり行う）

入場ゲート:全員の非接触型体温計による検温（37.5℃以上入場禁止）AD コントロール

全員のマスク着用（選手・ボールパーソンは競技時以外）

※ 屋外でソーシャルディスタンスを保てる場合は外しても良い。

必要最小限の運営スタッフ数

全員の健康チェックシートの提出と健康状態チェック（受付:全チーム選手・役員 全運営関係者）

⇒ 体調不良者は入場させず、ただちに帰宅

屋内運営諸室のドア開放・換気（窓開放）

アルコール手指消毒液の設置・励行:出入り口、運営本部、オフィシャルテント、レフェリー テント、ロッカールーム等

ソーシャルディスタンス（1m 以上）の確保、座席の配置・間隔（正面に座り合わないよう配置:1~1.5m間隔）

ドブ漬けの禁止

- トイレ:液体石鹸・ペーパータオルの設置
- 道具・什器（テーブル・イス等）のこまめな消毒（試合後、大会日程終了後）
- 各所:感染防止に関する注意事項を掲出

(イ) MCM 確認事項

- 両チームメンバー・スタッフの健康チェックシートの提出・健康状態の確認
- 不用な接触の回避:両チーム・審判握手の禁止 円陣禁止 ハイタッチ・抱擁の禁止
- ビブスの共有禁止（1人1枚決まったビブス着用）
- 交代時:ビブス受け渡しは禁止し、常識的な距離でのエアタッチで入れ替わる
- タイムアウト時は密集を回避するために、ピッチ内に交代要員・スタッフが入ることを認める。
- ピッチ内での咳エチケット、つば吐き・手鼻の原則禁止
- ピッチ上でのチームメイト・レフェリーとのコミュニケーション時の距離確保
- ボトルの共有禁止、水のピッチ内への吐き捨て禁止
- タオル等リネンの共有禁止
- 試合前チーム集合写真撮影は OK
- 試合後はすみやかに会場から退出

(ウ) レフェリー

- 健康チェックシートの提出・健康状態のチェック
 - 用具チェック中のマスク着用、ソーシャルディスタンスの確保
 - コイントス:キャプテン同士の2m以上距離確保
 - 試合前チーム集合写真撮影は OK
 - 交代用紙使用の有無の伝達
 - 共通の道具・記録用具・文房具の消毒徹底
 - マッチオフィシャルテント内のレフェリー、記録等役員:マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保
- ※ 屋外でソーシャルディスタンスを保てる場合はマスクを外しても良い。

(エ) 観客（感染拡大状況によっては、無観客とする。）

- 入場ゲートでの検温実施（37.5℃以上 入場禁止）およびアルコール手指消毒の徹底
 - 場内でのマスク着用
 - 場内および客席でのソーシャルディスタンス（1.5m以上）の確保
 - 大声を出しての応援禁止（極力、声を出さない）
 - 選手・関係者との動線分け、選手・関係者との接触禁止
- ※ 原則無観客とするが、大会役員及び関係者等、大会本部で許可を得た者については、ソーシャルディスタンスを確保した上で観戦を認める。

4. 大会後

(ア) 撤収

- 更衣室（ロッカールーム）：換気、更衣のローテーション
- シャワー：ローテーション 交代して浴びる
- メディア取材：記者・選手のソーシャルディスタンス確保（記者-選手：2m以上）
- ごみ処理：密閉した状態で会場のルールにしたがい処分
- チーム・レフェリー撤収後：諸室・道具等の消毒の徹底
- 使用担架の消毒
- レフェリー謝金・交通費支払：原則的に振込 現金授受を避ける

(イ) 事後対応

(ウ) 帰宅後 14 日以内に運営関係者から感染者が出た場合：大会主催者および各参加チーム感染対策責任者に報告

- 帰宅後 14 日以内に参加チームから感染者が出た報告があった場合：大会主催者に報告